

東京都市計画道路幹線街路放射第5号線

第2号

三建・放5ニュース

VOL.2 2009.2
【発行】
東京都第三建設事務所
〒164-0001
中野区中野4-8-1-2F
Tel 03-3387-5347

●第2号の発行にあたり

放射第5号線（放5）は皆様のご協力のもと、用地の取得を進めさせていただいております。おかげさまで、平成20年12月末までに約7割の土地の契約を完了させていただきました。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●「放5のモデル整備」について

- 地域の皆様に放5を理解していただくために -

前号の「三建・放5ニュース」でもお知らせしました実物の環境施設帯を中心としたモデルを、今年の5月以降に兵庫橋の西側地域に整備いたします。

モデルは沿道にお住まいの皆様が、放5への車の出入りをするための「切下げ」や「副道」、環境対策のために設置される「築堤」や「遮音壁」について、どのようなものなのか実際に体感していただくために、道路整備に先立って仮の道路としてつくります。（このモデルを設置した箇所の実際の環境施設帯整備にあたっては、沿道の方々の意向を踏まえたものを再整備いたします。）

また、放5の整備では、現在の玉川上水の外側に新たな緑地を整備することで玉川上水の保全を図り、併せて環境施設帯に植樹帯を設置することで緑のネットワークを形成します。モデルを通して、都市計画道路幅員60mの構成と、玉川上水を含む、幅員25mの緑地空間・遊歩道を広く皆様に体感していただきたいと考えています。



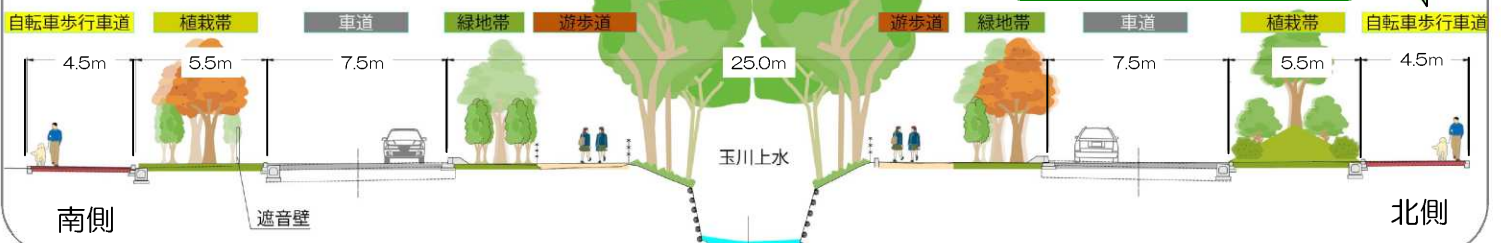
このモデルで新たに整備される放5を皆様に体感していただくことを通して、今後、環境施設帯整備のあり方について、沿道の皆様からの要望や考え方を伺い、よりよい道路づくりを進めていきたいと考えています。

現況写真



モデル予定地です

モデル整備イメージ図



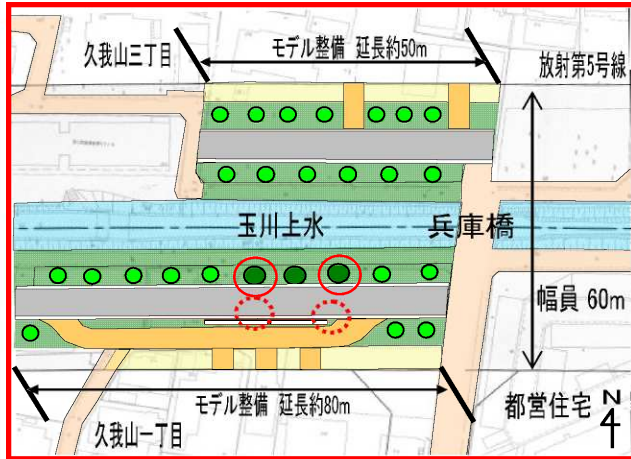
モデル整備のイメージ

● 「樹木移植」について

ー モデル整備に伴う樹木の移植について ー

今回、モデルを整備する箇所には、将来車道となる位置に樹木(ケヤキ)が2本あります。既存樹木をできるだけ保全するため、この樹木については緑地帯となる箇所に移植します。樹木診断の結果、この樹木は根回りにキノコ(ベッコウタケ)が生えていることがわかりました。このキノコは徐々に樹木を枯らすと言われております。このため、移植に際しては腐朽の程度を確認のうえで、対応したいと考えています。

モデル整備のイメージ図

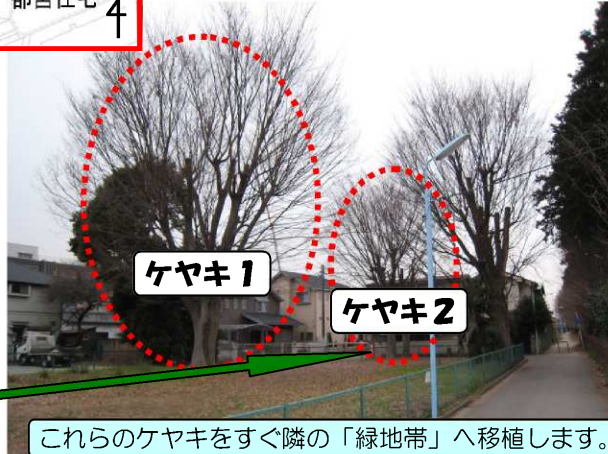


● は移植する樹木的位置です。
○ は移植先的位置です。
注) イメージ図です。変更する場合がありますのでご了解願います。

移植機械



現況のケヤキの写真



ベッコウタケ



○ 移植について (樹木の引越し)

移植する樹木は、幹回りが250cmに達する程の大きな樹木です。樹木移植の際は、樹木の体力を損なわないことが大切です。そのために、樹木の根ごと素早く移植を行う方法を採用し、3月までに行うこととしました。

右上の写真は、中野区の旧囲町公園にて、今回採用する方法で移植を行った際の現場写真です。

○ 道路整備について

今回の樹木移植の後、モデルを整備し、沿道の皆様からのご意見を伺いたいと考えています。

また、現在東京都では「放射第5号線事業推進のための検討協議会(※)」報告について検討を行っており、道路の本格整備については、内容等が決まりましたら順次、お知らせいたします。

(※) 平成16年11月から平成19年3月まで行われた、住民参加による検討会のこのことです。

● 「問合せ先」について

＝ 道路整備について (計画全般) ＝

第三建設事務所
工事第一課 環境対策担当係
Tel 03-3387-5347

【 発行 】

東京都第三建設事務所 工事第一課
東京都中野区中野4-8-1 中野区総合庁舎2階
第三建設事務所のHP

<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/sanken/index.html>

平成20年度
登録11号